

ママたちが街再発見

青森 店巡り魅力満喫

本社販売部 ☎017(739)1127
購読申し込みは
☎0120-46-5939



宝石店で店員の説明を熱心に聞く参加者たち

青森まちなかマーケティング市民委員会は4日、0～6歳の子どもを育てている母親に街中の魅力を知ってもらおうと、「まちなか子育てツアー」を開いた。青森市内の主婦ら

15人が3コースに分かれて衣料品店やおしゃれな喫茶店などを巡り、商店街を満喫した。「脱☆育児見服コース」の参加者は昭和通りを中心に散策した。宝石

店員から「今年はリボン型のアクセサリーが人気です」などと説明を受け、「子どもがシヨーケースのガラスをペタペタ触らないか心配」などと相談していた。男性物の紳士服な

どを取り扱う「HICROSS」では「オーダースーツはどうしてこんなに低価格が実現できるの」などと質問していた。

参加者の木立敦子さんは「スーパーやショッピングセンターでの買い物が多いので、ドアを開けてお店に入るのに少し尻込みしました。入ってしまえば何てことなく、アットホームに迎えてくれました」と話した。

同ツアーではKDDIなどが開発を進める、携帯電話をかざすと、その先にどんな店があるかを表示するシステムも実験導入された。携帯電話の向きに合わせて画面が変わる様子を見た参加者は「すごい」と驚く一方、「街に出てから役立つ機能で、これがあるから街に出てみようとは思わないかも」という声も聞かれた。

(小路口裕充)

この記事は、東奥日報社の許諾を得て掲載しています。無断転用・複写を禁じます。